



「オッフェンバック作曲『天国と地獄』を味わい尽くす(その2)」

お話・演奏：田辺 秀樹（一橋大学名誉教授）

オッフェンバックのオペレッタ『天国と地獄』の後半を取り上げます。前半では地上（この世）と天国（オリンポスの神々の国）が舞台でしたが、後半は地獄（地下の冥界）が舞台です。地獄に連れて来られた妻ユリディス、彼女を不本意ながらも連れ戻しにきた夫オルフェオ、地獄の大王プリュトン、天国から地獄にやってきたユピテルをはじめとする神々たち、さらにはうるさい<世論>なども入り乱れて、支離滅裂(?)なスッタモンダがくり広げられます。エクサンプロヴァンス音楽祭での日本語字幕付のビデオ映像を中心に、日本でのなかにし礼台本+演出による公演の映像なども交えながら。オペレッタの原点ともいべきこの作品を楽しみたいと思います。

後半はお飲物とともにピアノ演奏をお楽しみいただきます！

日 時 2018年 11月6日 (火) 14:00~16:30
参加費 ¥3,500 (ワイン、お茶、おつまみが付きます)
会 場 カーサ・モーツァルト
東京都渋谷区神宮前1-10-23 3F

JR「原宿駅」徒歩5分
東京メトロ「明治神宮前駅」出口5徒歩2分
ラフォーレ原宿裏、東京中央教会前



申込み メール：info-cmma@casamoz.org
FAX：03-3497-1833

メールまたはFAXにお名前、ご連絡先、ご希望人数を明記ください。

田辺 秀樹 (タナベ ヒデキ)

1948年東京生まれ。東京大学大学院ドイツ文学科修士課程修了。
ボン大学に留学し、ドイツ、オーストリア各地でオペラ見物やコンサート通いに精を出す。専門はドイツ語・音楽文化論。研究対象はモーツァルト、ドイツ語圏の歌曲、歌劇、芸能など。音楽評論、放送番組解説でも活動、
秘かに「酒席ピアニスト」としても活躍している。
著書に「モーツァルト」（新潮文庫）、「モーツァルト16の扉」（小学館）。
「リヒャルト・シュトラウスの実像」（共著・音楽之友社）ほか。

